

小学校第2学年 生活科 学習指導案

期 日 平成22年10月20日(水)第5校時

場 所 八代市立千丁小学校 2年1組教室

指導者 教諭 沖田 正子

1 単元名

「町 大すき」 たのしいせいかつ (大日本図書)

2 単元について

- (1) 地域は子どもたちの生活の場であり、学習の場としても価値ある場所である。しかし、子どもと地域社会とのかかわりは、希薄になってきているのが現状である。保護者に依存してきた活動から、子どもたちだけの活動に徐々に変わり、行動範囲が広がってきた反面、友達の家を知らない子どもや、近所にどんな人がいるのかを知らない子どももいる。このような中で、地域を学習の場としながら、地域の人、社会とかかわる体験を通して、自分たちの身近な地域を見つめ直していくことはとても大切なことである。

本単元では、特に「地域に生きる人」に着目して活動を進める。子どもたちは、「地域に生きる人」とのふれあいを通し、その生き方や思いを感じ取るとともに、人のすばらしさや地域のよさに気付いていく。また、人とかかわる楽しさや喜びを実感する中で、さらに積極的に人とかかわろうとする意欲を高め、自分も地域の一員だという自覚が芽生えると考える。このように、自分たちの住む千丁の町への愛着を深め、自分の生活をさらに豊かに広げていけることを目指し、本単元を設定した。

- (2) 校区探検や、地域の人々とかかわった学習の経験については、次の通りである。

1年

【1学期】 「こうえんにいこう」 (い草の里公園)	【2学期】 「あきをみつけたよ」 (い草の里公園)	【3学期】 「みんななぜのこ」 (地域の方に正月遊びや 伝承遊びを教えてもらう)
---------------------------------	---------------------------------	---

2年

【1学期】 「はるの町大すき」 (学校周辺の通学路や通 学区・い草の里公園)	【2学期】本単元 「町 大すき」 (校区探検・名人さん 探検)
---	--

- (3) 本単元に係る児童(33人)の実態は次のとおりである。

- 千丁校区に住んでいる人で頑張っている人や名人さんを知っているか調べたところ、自分の保護者や祖父母の得意なことを書いてきた児童がほとんどであった。近所のおじちゃん、おばちゃんとの交流が少なく地域の人をあまり知らないという実態がある。
- 自分たちが日頃お世話になっている人は誰かという調査をしたところ、保護者や先生と答えた児童は33人、交通指導員の方と答えた児童は19人、登下校見回り隊の方と答えた児童は6人だった。学校内や登下校路、家庭で世話になっている人への感謝の気持ちは持っているが、地域全体の人々から見守られているという実感はあまりない。

- 言語活動に関わる実態は以下の通りである。

調べたり、インタビューしたりすることは好きですか

とても好き13人 好き15人 あまり好きではない4人 きらい1人

調べたり、インタビューしたりしたことをメモすることは好きですか

とても好き18人 好き10人 あまり好きではない5人 きらい0人

友達や家族の前で発表することは好きですか

とても好き13人 好き8人 あまり好きではない10人 きらい2人

地域の人の前で発表することは好きですか

とても好き10人 好き15人 あまり好きではない6人 きらい2人

(4) 指導にあたっては、次の点に留意する。

【探検グループの構成】

○グループは、4・5人の少人数で構成し、一人一人に役割を持たせることで、活動に全員が積極的にかかわれるようにする。グループ毎にグループの名前を考えたり、マークを作ったりすることで結束を高めるようにする。

【探検に行くための協力体制】

○児童の実態や地域の実態をもとに、地域の生活を守り豊かにしている人々との出会いを設定する。

○実際の探検の際には、保護者の協力を得て各グループに入ってもらい、安全を確保する。また、訪問先の方には、事前に活動の目的やインタビューの内容などを連絡し、協力をお願いしておく。

【意欲を持続させるための工夫】

○単元全体の流れを書いた用紙を教室内に掲示することで、子どもたちが見通しを持って活動できるようにしておく。

○2学期末に本校で行われる学習発表会と授業参観で、地域の方々や保護者を前にグループでわかったことなどを発表させるようにする。町の「名人さん」のよさを、多くの人に知らせるという目標を持つことで、意欲や集中力の持続を図るようにする。

【一人一人が自信を持って表現できるようにするための工夫】

○文字言語、絵、身体表現、音声などの様々な表現方法から、自分に合った方法を選べるようにする。

○能面、竹細工、いぐさの実物や、三味線の録音等の資料を教室に持ち込み、子どもたちが直に接することができるように準備しておく。

○事前に、子どもたちのメモや学習シートを確認し、一人一人の気付きをチェックしておく。また、グループ発表に当たっては、役割分担をして、一人一人が活躍できる場と時間を確保できるようにする。

思考力、表現力等と言語活動

本単元では、親しみや愛着を持って地域の人々と適切に接したり安全に生活することについて、自分なりに考えたり振り返ったりできるようにする。また、伝えたいことを絵や文章、身体ですなおいに表現し、他者と交流できるようにする。活動や体験から生まれる気付きは、書く、話す等の言語活動を通して、質的に高めることができると思う。

3 単元の目標と評価規準

単元の目標	○自分の町を探検し、様々な場所やもの、人とかかわりを持つことで、自分の住んでいる地域や人に愛着を持つことができる。 ○地域の人々の努力や得意なことに関心を持ち、積極的に調べることができる。 ○調べたことを工夫してまとめ、表現し、友達や地域の人にわかるように紹介することができる。
関心・意欲・態度	○町の「名人さん」とふれあおうと、わくわくした気持ちで探検し、自分たちの住む千丁の町への愛着を深めている。
思考・表現	○探検して、感じたこと、見つけたこと、考えたことを工夫して表現することができる。
気付き	○自分の町には、すてきな「名人さん」がたくさんいることに気付いている。 ○地域の人にかかわって、そのよさやすばらしさに気付いている。 ○地域の人々にかかわって生活すると楽しいことに気付いている。

4 指導・評価の計画 (30 時間扱い)

小単元	時	学習活動 () は時間	※言語活動とその留意点	評価項目 (方法)	行事、地域、他教科等との関連
町の「名人」を友達と教え合おう	5	○自分が知っている町の「名人さん」をカードに書いて紹介する。(2) ○みんなで作った絵地図をもとに、探検の目的をはっきりさせ、会いたい「名人さん」を決める。(3)	【話す活動】 ・見つけた町の「名人さん」について、聞く人に分かりやすく話せるように、話し方の例を提示し、練習させる。 【文や絵で表す活動】 ・自分が知ってる町の「名人さん」のことを、カードに短い言葉でまとめる方法を知らせる。 ・絵地図にまとめることで自分が住んでる町に自分が知らない多くの「名人さん」がいることに気付かせる。	【関心・意欲・態度】 ・地域の人々や様々な場所に関心を持ってかかわろうとしている。(観察・発表) 【思考・表現】 ・行きたい場所や会ってみたい人、してみたいことを決めている。(学習シート)	国語「知らせたい事を選び、事柄の順序を考えながら相手にわかるように話すこと」 ・ともこさんはどこかな ・あったらいいなこんなもの 国語「相手や目的を考えながら、書くこと」 ・かんさつ名人になろう 道徳「あいさつっていいな」2-1 礼儀 学活「クラスのこまりごとをはなしあおう」 行事「いぐさの里祭り」
町の「名人」に会いに行こう	14	○探検の計画を立て、準備をする。(3) ○探検に行き、「名人さん」と交流をする。 ○「名人さん」について気付いたことなどを振り返り、友達と伝え合う。(4) ○さらに知りたいこと、会いたい「名人さん」について話し合い、グループで探検する。(5) ○「名人さん」についてわかった事などをまとめる。(2)	【話す活動】 ・相手を意識したあいさつや、インタビューの仕方、お礼などの言葉を考えさせ、使うようにする。 【文や絵で表す活動】 ・気付きを引き出す観点を提示しておき、探検後、カードに文章や絵でまとめるようにする。	【関心・意欲・態度】 ・地域の人々の様子や様々な場所について、見たり、調べたりしようとしている。(観察) 【気付き】 ・地域に住んでいる様々な人々のよさや自分とのかかわりについて気付いている。(学習シート)	国語「丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて話す」 ・あったらいいなこんなもの 国語「身近な事柄について、話題に沿って、話し合うこと」 ・何に見えるかな 国語「書こうとする題材に必要な事柄を集めること」 ・見たこと、感じたこと 道徳「町のひみつわかったよ」4-5 郷土愛
町の「名人」を教えるよ	11	○町の「名人さん」を紹介する発表会の計画を立てる。(2) ○発表会の準備をする。(7) ○地域の方や、学校のみんなに町の「名人さん」について調べたことを発表する。(1) ○これまでの学習を振り返る。(1)	【話す活動】 ・発表の場に応じた声の大きさ、相手に話の内容がより伝わるような話し方を考えさせ、練習させる。 【文や絵で表す活動】 ・伝えたい町の「名人さん」のことをどんな方法で表現するかを考え、発表させる。	【思考表現】 ・好きになった場所や親しくなった人々などのことを振り返り、自分なりの方法で表し、友達に知らせている。(観察・発表・作品・学習シート) 【気付き】 ・地域で生活したり働いたりしている人々や場所が、自分たちの生活を支えていることが分かっている。(観察・発表・学習シート)	国語「知らせたい事を選び、事柄の順序を考えながら相手にわかるように話すこと」 ・ともこさんはどこかな ・あったらいいなこんなもの 国語「相手や目的を考えながら、書くこと」 ・かんさつ名人になろう 道徳「おゆうぎかい」4-5 公德心・規則の尊重 学活「ともだちのよいところさがしをしよう」

5 本時の学習

(1) 目標 自分が見つけた「名人さん」のすごさを友達と紹介しあい、感想を交流し、よかったところや改善点について考えることができる。

(2) 展開

過程	学習活動	主な発問・指示 (○) 予想される児童の反応 (◆)	教師の指導及び評価	備考
導入 3分	1 名人さんプレ発表会をする目的を確認する。	○今日のプレ発表会の目的を考えましょう。 ◆発表会に向けて、悪いところを直そう。 ◆どきどきするけどがんばるぞ。 ◆友達の発表をしっかりと聞いて、感想を言うよ。	・地域の方々の前での発表会を意識して、発表の内容、態度について感想を交流する目的を提示し、学習の流れをつかませる。 ・自分たちの発表会という意識を高めるため、発表会の計画や司会進行は、こどもたちに任せる。司会進行の子どもについては、事前に練習させておく。 (話す活動) ・相手を意識した上で、声の大きさ、速さを考え、発表することを知らせる。 ・相手のことを考えた話し方で、アドバイスをすることを知らせる。	絵地図
展開 30分	2 各グループ毎に名人さんの発表をし、感想を交流する。	○感想を言いましょう。 ◆名人さんのすごさがよくわかったよ。 ◆ゆっくりはっきり言っていて聞きやすかったよ。 ◆にこにこ笑顔があったらいいな。 ◆もっと、詳しく聞きたいところがあるよ。教えてほしいな。 ◆ほめてもらってうれしいな。もっとがんばろう。	(聞く活動) ・発表する時の注意点を意識して聞くことを知らせる。	発表資料 学習シート
終末 12分	3 本時のまとめをし、さらに発表会への意欲を持つ。	○今日の学習を振り返りましょう。(自己評価)	評価1 〔発表者〕【観察・発表】 B：伝えたいことを楽しんで表現することができる。 A：伝えたいことを楽しんで、わかりやすく表現することができる 〔聞く人〕 【学習シート・観察・発表】 B：友達の発表の評価シートの項目に○をつけることができる。 A：聞いたことについて質問や感想を発表することができる。 評価2 〔発表者〕【学習シート】 B：友達からの感想を受けて、よかったところについて考えることができる。 A：友達からの感想を受けて、改善点について考えることができる ・児童の感想を紹介し、地域の人への思い、発表会への思いを広げる。	振り返りシート